



公益財団法人 佐倉国際交流基金

2025年度 第2回通常理事会
議事録



2026年3月12日 (木)



2025年度 公益財団法人佐倉国際交流基金 第2回通常理事(役員)会 議事録

◎ 会議の日時及び場所

2026年3月12日(木) 午後1時半から3時まで
中央公民館2階 学習室1

◎ 理事の現在数 9名

監事の現在数 2名

◎ 会議に出席した理事の氏名

出席理事(8名) 東城 孝・立田正人・安藤忠男・寺嶋康美・
山岡みち代・鈴木昭寛・今村公蔵・橘 正明
欠席理事(1名) 金子京子

出席監事(2名) 牧 俊紀・南波佐間信彦

◎ その他出席者

佐倉市役所企画政策部広報課 飯野 明
公益財団法人佐倉国際交流基金 事務局長 関口優紀

1. 開 会

理事長より2025年度第2回通常理事会の開会が宣言された。

2. 理事長あいさつ

(略)

・議長選出

定款の定めにより、議長は理事長がこれにあたる旨通告された。

3. 会議成立報告

議長より本日の出席者は理事8名、監事2名で役員過半数の出席により本会議の成立が報告された。

4. 議事録署名人の選出

議長より議事録署名人は定款の定めにより代表理事(東城 孝)・出席監事(牧 俊紀)(南波佐間信彦)がこれにあたる旨通告された。

5. 議 題

- 第1号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 2026年度事業計画
第2号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 2026年度事業予算
第3号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金
2026年度資金調達及び設備投資の見込み

報告事項 業務執行理事の業務報告

議長

第1号議案および第2号議案は関連しているので、まとめてご説明する。
それでは、「第1号議案2026年度事業計画」と「第2号議案2026年度事業予算」
について、説明願う。

事務局長

まず事業計画の内容を説明する。

2026年度の事業方針は

1. 地域における多文化共生の促進に寄与する事業運営を目指す。
2. 運営委員会を活性化し、各事業間の連携を強め、佐倉国際交流基金の
特徴を生かした事業としてゆく。
3. 財政状況を踏まえ、事業の改善、効率化を進める。

1. 国際相互理解推進事業〈公益目的事業1〉

佐倉市国際文化大学は、毎年5月から11月まで、22講座、定員100名、受講料
は年額28,000円である。主に中央公民館学習室3にて実施する。

26年度の応募者は現在92名、この状況から応募者はさらに増えると思われる。

「こうほう佐倉」に加え、その他の広報活動も強化する。

佐倉国際スピーチコンテストはミレニアムセンター佐倉において、10月18日(日)
佐倉市との共催で実施する予定である。

「幼児～シニア」という広い年齢層の参加者や、多様なテーマにより佐倉国際交流基
金の特徴あるスピーチコンテストとしてゆく。

イングリッシュサロンの2026年度は、昨年より1クラス増設する。ファシリテー
ター3名で年間講座回数は10回。月1回参加者は、参加費9,000円(年間)、

月2回参加者は、18,000円(年間)とする。定員は各クラス11名。

広報さくらを始め、多様な方法で参加者を募る。

2. 国際交流活動支援事業〈公益目的事業2〉

昨年度の助成金申請は2件。財政事情を考慮し以下の申請条件を設けるが、26年度も募集を継続する。

- (1) 語学講座は、一人1,000円、合計で15,000円以内
- (2) 申請金額の上限は、原則、助成対象経費の2分の1とする。
- (3) 1団体1件の申請とする。

3. 外国人支援事業（佐倉市国際化推進事業受託）〈公益目的事業3〉

1) 外国人のための日本語講座

原則佐倉市在住、在勤の外国人を対象に実施する。

成人向けクラスは、志津コミュニティセンター〔木曜3クラス〕、ミレニアムセンター佐倉〔金曜・土曜各1クラス〕、中央公民館〔日曜4クラス〕、根郷公民館〔土曜1クラス〕

小中高生向けクラスは、千代田・染井野ふれあいセンター〔土曜1クラス〕、志津公民館〔水曜1クラス〕、根郷公民館〔土曜1クラス〕

2024年度から根郷公民館において開始した「外国人女性のための日本語講座」は受講者の増加もあり継続する。

「日本語講座のつどい」は、外国人学習者が主体的に楽しめるイベントであるが、2026年度は11月15日(日)、中央公民館にて実施の予定である。

2) 外国人のための生活相談

英語、中国語、スペイン語、ペルシャ語、ダリー語での対応可能。特にダリー語、ペルシャ語のニーズが増えている。

やさしい日本語による「佐倉市のお知らせ」をダリー語でも継続発行する。

4. その他 附帯事業

①情報提供の適正化を図る。

法令に定められた事項の情報公開をSIEFホームページで実施。

公益法人として必要な情報（公告）の事務局備置を実施。

ガバナンス強化策として、事業状況、予算執行状況を毎年6月より理事、評議員、運営委員長、及び佐倉市に報告する。

②ボランティア募集の推進と活動の活性化に努力する。

次に2026年度の予算の説明をする。

様式2-1 予算案（正味財産増減計算書）

一般正味財産の増減の部

収入の部

基本財産運用収入は2025年度と同額であり、SIEF運営資金の骨格である。2025年度との違いは、文化大学募集人員の見直しで26年度を92名としたことによる収入減、日本語講座「外国人女性のための日本語講座」の増額、イングリッシュサロンの増クラスによる収入増が見込まれる。全体として前年比56000円の収入増である。

支出の部

まず、事業費の説明をする。

国際相互理解推進事業(公1)において、文化大学は費用削減による支出減、イングリッシュサロンはクラス増設に伴うファシリテーター諸謝金増である。外国人支援事業は受託費用に見合った支出を予定している。事業共通は2025年度に比し、15万円程の賃金増が避けられない。それらを合わせ、全体として208,500の支出超過である。

管理費は通信、運搬費用、賃金、福利厚生費の費用増に対し消耗品、印刷費などの削減を図った。結果として2026年度の経常増減額(収入ー支出)は、350,800円の支出超過である。

正味財産増減計算書内訳表(予算)は公益法人会計の観点で説明する。

経常収益は10,045,000円で、経常費用計10,395,800円である。

その内公益事業費支出は8,820,800円で経常費用の85%を占める。

公益目的事業支出は費用8,820,800円対して遊休資産は3,678,058円であり当予算は、公益法人会計基準に合致している。

議長

「第1号議案2026年度事業計画」、「第2号議案2026年度事業予算」について説明したが、何か質問はあるか。

寺嶋理事

基金の財政状況が厳しいことが分かります。収益事業などはすぐにはできない中で資金運用の見直しなどの可能性はどうでしょうか。

鈴木理事

昨今の状況から、債券金利は上がっています。資料を見ると基金の国債などの金利は低く、運用見直しを行なったらどうでしょうか。

東城理事長

基金としても、証券会社からの資料などを基に三役会において検討をしております。

債券買換えによって利息を増やすことはできますが、一方で該当国債の価格は購入時より減額となります。基金の運転資金を増やすことはできますが、その額はあまり多くありません。

加えて事務局より、債券は満期保有が原則で、その為に基金の基本財産は額面扱いで承認されていること、また1件でも債券の満期保有をやめると残りの債券すべての実評価を毎年行わねばならず、事務の負担が増えるとの報告を受けております。以上のことから、現状の枠内でできるだけ効率的な事業を行ってまいります。

議長

それでは、「第1号議案2026年度事業計画」について、及び「第2号議案2026年度事業予算」について、了承することよろしいか。

《全員挙手》

全員賛成で「第1号議案2026年度事業計画」、及び「第2号議案2026年度事業予算」は承認された。

議長

次に「第3号議案2026年度資金調達及び設備投資の見込みについて」事務局長に説明をお願いします。

事務局長

佐倉国際交流基金は2026年度、資金調達及び設備投資の予定はありません。

議長

「第3号議案2026年度資金調達及び設備投資の見込み」について説明したが、何か質問はあるか。

それでは、「第3号議案2026年度資金調達及び設備投資の見込み」について賛成の方は挙手を願う。

《全員挙手》

全員賛成で「第3号議案2026年度資金調達及び設備投資の見込み」については承認された。

議長

次に「報告事項 業務執行理事の業務報告」について、規則により、業務執行理事

自ら報告する必要があるので、理事長 東城、副理事長 立田、常務理事 安藤の順に報告致します。

東城理事長の職務執行状況報告
立田副理事長の職務執行状況報告
安藤常務理事の職務執行状況報告
を順次行った。



議長

「報告事項 業務執行理事の業務報告」について何か質問はあるか。

事務局長

それでは今後の予定につきまして以下確認いたします。

- 会計監査を5月15日(金曜日)に行う
- 2026年度第1回理事会を5月26日(火)に行う

他になければ本日の議題、報告事項は以上である。
これにて2025年度第2回通常理事会を閉会する

(議事録作成者 関口優紀)

以上、2025年度 第2回通常理事会内容に相違ありません。



2026年3月18日

議事録署名人

議長 (代表理事)

東城 孝 

監 事

牧 俊紀 

監 事

南波 佐間 信彦 

